

# 市議会だより おおだ

No.59

2020(令和2)年5月21日発行

～火山からの贈り物 Vol.4～

ごうけん とくじつ

## 2000万円の剛健篤実

＜波根西 珪化木＞

### 4月臨時会

～大田市議会新体制スタート!!～

- 新正副議長、各常任委員会等役員決まる!…2

### 3月定例会

～令和2年度一般会計予算可決  
総額255億500万円

- 第2期創生総合戦略に基づき都市基盤づくり・産業づくりなどに予算配分…4
- 共創のまちづくりや防災対策等9人が市政を問う…9

# 大田市議会新体制スタート

よろしくお願いいたします



議長 松村 信之



副議長 月森 和弘

## 正副議長就任あいさつ

私どもは、過般四月の臨時市議会においてご推挙いただき、正副議長の要職を務めさせていただくことになりました。誠に身に余る光栄でありますとともに、その職責の重大さを痛感いたしております。

現在、当市にあっては新可燃ごみ共同処理施設の建設をはじめ、地域医療の確保、少子高齢化対策など、喫緊の課題が山積いたしております。

議会といたしましては、これらの課題に対し積極的に政策提言を行うなど、皆様のご期待に応えるべく大田市発展に全力で努力してまいります。

今後とも、市民の皆様の格別のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

◎委員長 ○副委員長

常任委員会	総務教育 7名	◎胡摩田弘孝 松村信之	○河村賢治 三谷 健	石橋秀利	小林 太 (欠員1名)
	民生 6名	◎森山幸太 石田洋治	○林 茂樹 亀谷優子	清水 勝	月森和弘
	産業建設 7名	◎森山明弘 小川和也	○和田浩司 根宜和之	塩谷裕志	大西 修 (欠員1名)

議会運営委員会  
7名

◎小林 太  
石田洋治

○小川和也  
三谷 健

林 茂樹  
亀谷優子

河村賢治

広報広聴委員会  
9名

◎月森和弘  
河村賢治  
亀谷優子

○小川和也  
石田洋治

塩谷裕志  
胡摩田弘孝

大西 修  
三谷 健

監査委員(議会選出)  
1名

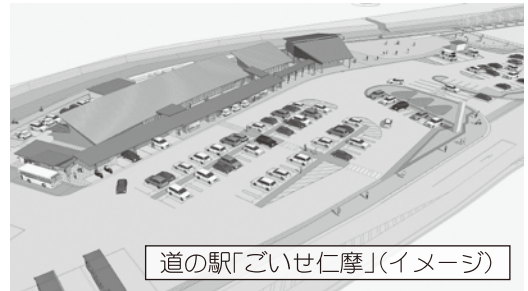
塩谷裕志

# 3月定例市議会で審議された 令和2年度一般会計予算

～第2次大田市総合計画 施策体系からピックアップ～

## 産業づくり 〈多様で活力ある「産業」をつくる〉

仁摩地区道の駅整備事業	6億5,300万円	山陰道の全線開通を好機と捉え、観光や食、伝統芸能といった大田市の魅力の発信拠点として、仁摩・石見銀山IC出口正面に、道の駅を整備する
大田市中心市街地活性化長期計画策定事業	526万円	大田市駅周辺の活性化に向けた「大田市中心市街地活性化長期計画(仮称)」を策定する



道の駅「ごいせ仁摩」(イメージ)

## 豊かな心づくり 〈ふるさとを愛する「豊かな心」をつくる〉

小学校耐震補強・改修事業	1,738万円	新耐震基準以前に建築された大森小学校の耐震性能診断及び実施設計を行う
大田市中心市街地活性化長期計画策定事業	1億1,583万円	利用者が快適で安全・安心に図書館を利用できる環境を整備するため、空調機器の更新、照明機器のLED化、回廊や外構の改修を行う



大田市中心市街地活性化長期計画策定事業

## 暮らしづくり 〈だれもが住みよい「暮らし」をつくる〉

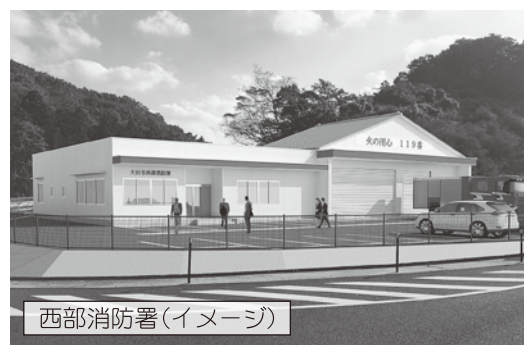
放課後児童健全育成事業	1億2,061万円	両親共働き等で昼間家庭に保護者のいない児童の健全育成のための放課後児童クラブの運営費を補助する
井田診療所・薬局移転整備事業	487万円	耐震基準に満たない井田診療所・薬局を旧井田小学校に移転するため、改修工事を実施する



井田診療所・薬局移転整備事業

## 都市基盤づくり 〈くらしや交流を支える「都市基盤」をつくる〉

西部消防署庁舎新築整備事業	5億5,960万円	西部消防署を移転新築し、活動拠点施設として整備を図る
多文化共生社会緊急通報システム等対応事業	134万円	外国人や会話に不自由な聴覚・言語機能障がい者からの119番受信時に、より円滑に対応できるシステムの整備を行うとともに、多言語翻訳アプリを導入する



西部消防署(イメージ)

原案どおり可決

3月定例議会は一般会計、特別会計等の令和2年度当初予算のほか、令和元年度補正予算、条例の制定、一部改正、一般案件等を慎重に審議した結果、全議案とも原案どおり可決しました。

# 「共創によるまちづくり」に向けた事業を実施

255億500万円 (対前年度当初比3.8%増)

## まちづくり



志学まちづくりセンター

### まちづくりセンター改修事業

(志学まちづくりセンター建築実施設計)  
(鳥井・北三瓶まちづくりセンターのトイレ改修)

1,707万円

## 交流



井戸神社

### 笠岡市友好都市縁組30周年記念事業

(友好都市縁組30周年を記念し、交流事業を開催する)

70万円

## 企業振興

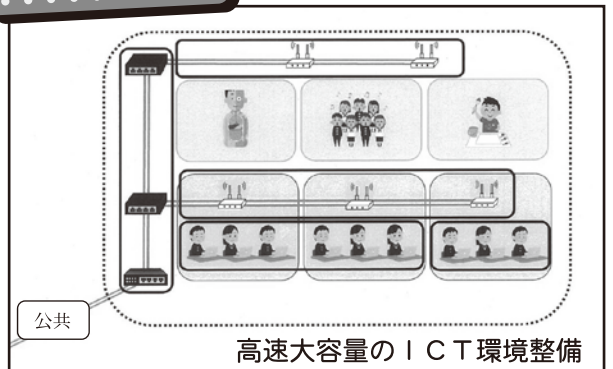


石見ワイナリー株式会社

### 企業立地奨励条例に基づき、石見ワイナリー(株)に助成金を交付

2,135万円

## 教育振興



### 全小中学校に高速大容量のICT環境を整備

(国庫補助事業を活用)

1億5,629万円

# 3月定例市議会

令和2年  
3月2日(月)～3月19日(木)

令和2年度当初予算案など

## 第2期大田市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき

## 令和2年度一般会計予算

### 総合戦略

#### 第2期大田市 まち・ひと・しごと創生 総合戦略



ケーブルテレビ  
光化促進事業



第2期大田市まち・ひと・しごと創生  
総合戦略に盛り込まれた取り組み  
25億7,623万円

### 環境衛生



新可燃ごみ共同処理施設の  
整備事業負担金  
(邑智郡総合事務組合への負担金)  
9億9,767万円

### 地域交通



交通事業者へ補助金の追加交付  
(井田地区定額タクシー運行支援を含む)  
3,251万円

## 令和元年度 3月補正予算

# 令和2年度一般会計予算討論～要旨

## 賛成



小川 和也 議員

大田市ではこれまで230人台で推移していた出生数が平成30年に190人に減少、依然として人口減少に歯止めが掛からない状況である。この課題は、全国的にも大田市にとっても苦慮している状況であり、最大の課題である。このような状況の中、令和2年度大田市一般会計予算の総額は255億5百万円である。本市の最大の課題は人口減少対策であり、令和2年度の当初予算案は、人口減少対策を重点に予算編成をされ、市民の皆様が安心して暮らせるよう、また、必要な大型インフラ整備を見込みながら、国・県からの補助金、過疎債など、有利な財源をしっかりと活用されている

ことを大いに評価するものである。

その中で、第2次大田市総合計画に掲げる、第1の柱「多様で活力ある産業づくり」、第2の柱「ふるさとを愛する豊かな心づくり」、第3の柱「だれもが住みよい暮らしづくり」、第4の柱「くらしや交流を支える都市基盤づくり」、第5の柱「人と自然が共生した、自然・生活環境づくり」、第6の柱「協働・共創による持続可能なまちづくり」の大きな柱に基づき、よりの確に、そしてスムーズに事業が行われるよう期待する。

最後に大田市共創のまちづくり行動指針に基づき「共創のまちづくり」に向け、市長をはじめ職員の皆様、市民の皆様が「ワンチーム」になることが必要である。

梶野市長におかれては、今後も人口減少をはじめとする様々な諸課題解決に立ち向かい、大田市の将来像「子どもたちの笑顔があふれ、みんなが夢を抱けるまちおおだ」を目指し、それぞれの取り組みを推進されるよう望みたい。

## 反対



亀谷 優子 議員

日本経済はいま、消費税増税や新型コロナウイルス感染症の拡大により、深刻な大不況に陥りつつある。また、安倍内閣がすすめる社会保障の切り捨て、大企業だけが潤うアベノミクス、地域産業の疲弊につながるTPP11、FTAの推進などは、地方の衰退をもたらし、貧困と格差を拡大し、市民の生活を苦しめている。地方自治体の役割は「住民の福祉の増進」であり、市民の暮らしと福祉を守る役割を果たすことが求められている。

4月から、整形外科医の常勤医師が派遣されることや、池田地区において公設の診療所を開設することなどは、地域住民の要望にこたえた、評価すべき点である。いまの暮らしの実態に照らして来年度予算を見たとき、前進面もあるが、市民の暮らしと命を守るためにも次の予算措置・対応を求めるものである。

第1に、社会保障について。実質所得や年金が減少しているもとで、民生費・衛生費などの社会保障予算に思い切って力を注ぐべきである。

第2に、産業振興について。停滞している経済を立

て直す決め手は、消費税5%への緊急減税の実現である。誘致企業だけの産業振興ではなく、地域に根をはって頑張る企業や、地場産業の育成に重点を置いた振興策を推進するべきである。

第3に、農業においては、TPPや日欧EPA、日米FTAなどの輸入自由化路線にきっぱり反対しなければいけない。価格保証と所得保障を行い、持続可能な農業経営を実現するべきである。

第4に、学校教育について。大田市では、有償ボランティアも含めて市内22の小中学校に20人の学校図書司書を配置している。しかし、新年度からは司書を5人減らし、兼務を含む15人体制にすることを打ち出した。司書の人員削減の撤回を求める。

# 新設条例

大田市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例

令和2年4月1日から「大田市消費生活センター」を設置し、複雑化・多様化する消費者相談に対応する体制を整備するため、新たに条例を制定するものです。

センターは、大田市役所本庁舎内に設置し、開所時間は平日の午前8時30分から午後5時15分です。

【消費生活センターの所掌事務】

- ①市民の消費生活に係る相談及び苦情の処理に関する事
- ②消費生活に係る情報の収集及び提供に関する事
- ③消費生活に係る啓発活動に関する事
- ④その他センターの設置の目的を達成するために必要な業務に関する事

# 指定管理者指定議案

◎管理を行わせる公の施設の名称  
「仁摩サントミュージアム」

○指定管理者となる団体の所在及び名称

大田市仁摩町天河内975番地  
公益財団法人シルバードランド振興事業団

○指定する期間

令和3年4月1日から  
令和8年3月31日までの5年間

◎管理を行わせる公の施設の名称  
「石見銀山世界遺産センター他周辺施設」

○指定管理者となる団体の所在及び名称  
益田市幸町2番63号  
石見交通株式会社

○指定する期間  
令和3年4月1日から  
令和8年3月31日までの5年間

※いずれも、管理運営の状況が優良である場合に、期間の満了から更に5年間の指定管理を行うことができる「更新制」の規定の対象となる公の施設です。

# 人事議案

▼人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること(2件)  
【2件とも異議なく同意】

現委員である片岡昭之氏(三瓶町志学)の退任(令和元年10月31日)に伴い、後任として大草一憲氏(三瓶町池田)を任命すること。および新治弘念氏(温泉津町)の任期が6月30日満了のため、同氏を再任することについて、意見を求めたもの。任期は3年。

# 請願・陳情

【継続審査(総務教育委員会付託)】  
「再審査(刑事訴訟法の再審規定)」の改正を求める意見書提出方について(請願者) 日本国民救援会島根県本部  
会長 中尾 光 良氏

【継続審査(総務教育委員会付託)】  
「視覚障がい有権者への選挙公報の充実を求める意見書」の提出方について(陳情者) 大田市視覚障害者福祉協会  
会長 寺本 恵 子氏

# 4月臨時市議会 審議された内容

【4月20日】

▼令和2年度大田市一般会計補正予算(第1号)  
7331万円

新型コロナウイルス感染症対策に係る経費  
・小中学校・市庁舎・まちセン等の感染防止対策

▼監査委員の選任につき同意を求めることについて  
監査委員に「塩谷裕志議員」を選任することについて、議会の同意が求められ、これに同意しました。

## ◇4月臨時会提出議案等賛否一覧表

議員名等 議案名	議決結果	賛 反 : 対 等 成																		
		月森和弘	亀谷優子	根宜和之	和田浩司	三谷健	森山幸太	胡摩田弘孝	森山明弘	小川和也	石田洋治	小林太	河村賢治	林茂樹	大西修	塩谷裕志	石橋秀利	清水勝	松村信之	
■市長提出議案																				
議案第232号 専決処分(和解)の承認について	原案承認	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第233号 令和2年度大田市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第234号 監査委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○

※定数20名(現員18名)、うち議長(松村信之)は採決に加わりません ※○は賛成、●は反対等(反対、継続審査、態度保留等々) ※除は、除斥

◇ 3月定例会提出議案等賛否一覧表

議案名	議員名等	議決結果	賛成	反対	林茂樹	亀谷優子	根宜和之	和田浩司	三谷健	森山幸太	胡摩田弘孝	森山明弘	小川和也	石田洋治	松村信之	小林太	河村賢治	大西和弘	月森裕志	塩谷裕勝	清水秀利	石橋秀利
<b>■市長提出議案</b>																						
議案第190号	令和2年度大田市一般会計予算	原案可決	15	2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第191号	令和2年度大田市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	15	2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第192号	令和2年度大田市国民健康保険診療事業特別会計予算	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第193号	令和2年度大田市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決	15	2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第194号	令和2年度大田市介護保険事業特別会計予算	原案可決	15	2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第195号	令和2年度大田市生活排水処理事業特別会計予算	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第196号	令和2年度大田市簡易給水施設事業特別会計予算	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第197号	令和2年度大田市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第198号	令和2年度大田市大田市駅周辺土地区画整理事業特別会計予算	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第199号	令和2年度大田市水道事業会計予算	原案可決	15	2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第200号	令和2年度大田市下水道事業会計予算	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第201号	令和2年度大田市病院事業会計予算	原案可決	15	2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第202号	令和元年度大田市一般会計補正予算(第7号)	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第203号	令和元年度大田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第204号	令和元年度大田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第205号	令和元年度大田市介護保険事業特別会計補正予算(第5号)	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第206号	令和元年度大田市生活排水処理事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第207号	令和元年度大田市大田市駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第208号	令和元年度大田市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第209号	令和元年度大田市病院事業会計補正予算(第3号)	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第210号	大田市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例制定について	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第211号	大田市監査委員条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第212号	大田市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第213号	大田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第214号	大田市国民健康保険診療所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第215号	大田市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	15	2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第216号	大田市印鑑条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第217号	大田市漁港管理条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第218号	大田市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第219号	大田市営住宅条例及び大田市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第220号	大田市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第221号	代官所地役人遺宅宗家の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第222号	大田市小規模集会所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第223号	大田市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	15	2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第224号	大田市立病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	15	2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第225号	大田市過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第226号	仁摩サンドミュージアムの指定管理者の指定について	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第227号	石見銀山世界遺産センター他周辺施設の指定管理者の指定について	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第228号	市道路線の認定及び変更について	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第229号	令和元年度大田市一般会計補正予算(第8号)	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第230号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議なし	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第231号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議なし	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>■請願・陳情</b>																						
請願第6号	「再審法(刑事訴訟法の再審規定)」の改正を求める意見書提出方について	継続審査	閉会中の継続審査(総務教育委員会付託)																			
陳情第2号	視覚障がい有権者への選挙公報の充実を求める意見書提出方について	継続審査	閉会中の継続審査(総務教育委員会付託)																			

※定数20名(現員18名)、うち議長(石橋秀利)は採決に加わりません ※○は賛成、●は反対等(反対、継続審査、態度保留等々)



# いっぱん質問



市政に対する一般質問は、3月5日、6日に行われ、9人の議員が執行部の考えをたどりました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。掲載する質問事項は、紙面の都合上、広報広聴委員会で選定し、1人1議題としています。なお、その他の質問項目があった場合は、質問項目のみを掲載しています。(内容は、ホームページ(<http://www.city.ohda.lg.jp/>)で閲覧できます。)

▲本会議場のようす。活発に質問と答弁が繰り返されました。

**答弁** 社会全体において、デジタル化が進行する中で、可能な限り新技術を導入し対応すべきであると考え、積極的にデジタル化を推進すべく、光ケーブル網の整備を行う。

**質問** 政府は昨年、デジタル手法の制定など、デジタル社会の実現へ向けた取り組みを加速させている。大田市もデジタル化を推進し、市民サービスの向上、官民の効率化と共にデータを新たな資源として活用し、全ての市民が不安なくデジタル化の恩恵を受けられる生活を提供する必要があると考える。大田市のデジタル化推進についての考えを伺う。

## 大田市におけるデジタル化推進について問う

さまざまな業務において積極的にデジタル化を推進すべきと考えている

ねぎ かずゆき  
根宜 和之 議員



新年度は、本格的にRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)を活用して事務処理の効率化、ICT等により多言語解説で、石見银山遺跡をわかりやすく伝えていく。教育分野では、教育ICT環境の整備を行う。また、保健分野では、AIを活用し受診勧奨を行うことで特定健康診査の受診率向上に努めたい。更に将来的には、遠隔医療、遠隔授業、また、地域の大きな課題である地域内交通対策の解消にもつながられる可能性があると考えている。

これからは手放せない!  
**マイナンバーカード**

マイナンバーカードのメリット

- マイナンバーカードを提示すれば、マイナンバーを再入力する必要がなくなる。
- マイナンバーカードを提示すれば、マイナンバーを再入力する必要がなくなる。
- マイナンバーカードを提示すれば、マイナンバーを再入力する必要がなくなる。

マイナンバーカードの活用

- マイナンバーカードを提示すれば、マイナンバーを再入力する必要がなくなる。
- マイナンバーカードを提示すれば、マイナンバーを再入力する必要がなくなる。
- マイナンバーカードを提示すれば、マイナンバーを再入力する必要がなくなる。

マイナンバーカードの活用

- マイナンバーカードを提示すれば、マイナンバーを再入力する必要がなくなる。
- マイナンバーカードを提示すれば、マイナンバーを再入力する必要がなくなる。
- マイナンバーカードを提示すれば、マイナンバーを再入力する必要がなくなる。

0120-95-0178

▶マイナンバーカード政府広報

# 「共創」 「共創のまちづくり」 について問う

共創は、第2次大田市総合計画の  
基本姿勢としても掲げている

まつむら のぶゆき  
松村 信之 議員



発言してほしい。市役所の文句でもいいから」と参加者の皆様に自ら発言を促している。まずは、何でも言える雰囲気づくりが必要であると考えている。

②職員共創の理解度については、挨拶・笑顔など良好な職場環境の構築や職員一人ひとりが地域の実情を把握し、常に大局観とスピード感をもって、一歩先を予測した業務に努めてほしいと話している。少しずつではあるが、共創に対する理解は深まっていると感じている。

## 質問

新年度の施政方針で、「市民と私、市役所職員が一緒に、幸せを感じる」ことのできる共創のまちづくりに向け、更に力強く踏み出したい」と掲げられている。以下について伺う。  
①各地域に出向かれた、「市長と語る会」の感想を伺う。  
②職員共創に対する理解度を伺う。

## 答弁

①市長と語る会については、本年2月までに26のまちづくりセンターで開催した。これまでに約1,000人の方にお越しいただき、様々な意見をいただいた。会場の雰囲気によって、何でもいいから

「共創」を基本姿勢に掲げる第2次大田市総合計画



# 公契約条例への 取り組みを問う

国・県の動向を  
注視しながら対応していく

おおにし おさむ  
大西 修 議員



たいと考えている。市がかかわる公共工事や委託事業において、これまでも公共工事設計労務単価を国に準じた引き上げを行うことや最低制限価格の設定基準を設けるなど、市としても適正価格の発注に努めている。

なお、具体化するための審議会の設置については、今のところ考えていないが、公共発注業務全般にかかわることなので、まずは、国において必要な法整備がなされるものと考えている。

また、公契約に係る業務に従事する労働者の方々ばかりでなく、地域の全ての労働者の方々の適正な労働条件を確保することは重要なことと認識しており、市として、引き続き国・県の動向を注視しながら対応していきたいと考えている。

## 質問

今、消費税や新型コロナウイルスが地域経済を大不況に突き落としている。大田市に関わる公共工事や委託事業において、若年入職者が減少し、高齢化がすすみ、建設産業や公共関連事業に深い影を落としている。  
公契約条例は、入札発生額と労働者の賃金の適正化、また公務・公共サービスの質の確保で地域循環型経済の確立を図るものであり、この具体化についての所見を伺う。

## 答弁

労働者の就業実態及び課題や問題点については、まずは建設業協会など関係団体との意見交換の場を設け、さまざまな課題や問題について、把握に努めてまいり

### 大西議員のその他の質問項目

- ・学校のあり方に関する実施計画(案)について
- ・学校図書館活用教育の推進と学
- ・校司書15名の配置について

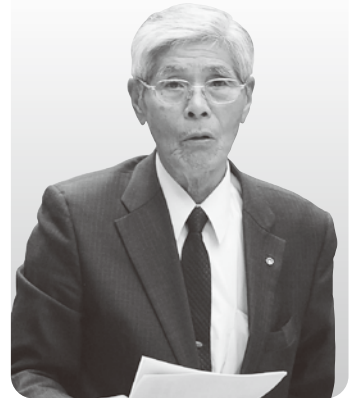
### 公契約条例とは……

市が事業者と締結する契約(公契約)において、労働者の適正な賃金水準や労働条件を確保することを目的とした条例

## 新型コロナウイルス感染症への対処方を問う

県央保健所において専門的な相談を受けるようにしている

しみず 清水 議員  
まさる 勝 議員



内18カ所の医療機関を紹介することになっている。検体は、島根県保健環境科学研究所でPCR検査を行っている。また、大田市立病院では感染症病床として4床を用意、県全体では30床確保している。

**質問** 新型コロナウイルス感染症は、入国制限等の水際対策を講じたものの、国内感染は1,000名を超え、拡大の一途である。いつ、どこで発生してもおかしくない昨今であり、感染の疑いや発生時に備えて、ウイルス検査施設と機器の配備や指定医療機関・病床数を伺う。

併せて、首相の急転・唐突な発言、「全国小・中・高校の一斉休校要請」は市内の子ども・保護者・教育現場に動揺と混乱が生じたよつである。経過と所感を伺う。

**答弁** 新型コロナウイルス感染症が疑われる場合は、県内7保健所の相談センターへ連絡し、県

小中学校の休校対応については、国の方針を受け、大田市では28日の午前中に、3月3日から3月24日まで休校することを決定した。しかしその日の午後、島根県より県立学校は休校しないとの連絡があり、大田市も休校しないと方針の修正をした。情報が錯綜し、学校並びに保護者には心配をかけ、大変申し訳なく思っている。

清水議員のその他の質問項目

- ・景気の後退により財政悪化を招く懸念について
- ・ふるさと納税の積み上げの根拠や企業版ふるさと納税への対応等について
- ・JR出雲市以西路線のサービス充実方について

## 防災対策について問う

防災科学技術研究所における今後の動向に期待している

いしだ ようじ 石田 洋治 議員



況認識を統一し、安全で速やかな災害復旧につなげるものである。市としては、国において統一的な取り扱いで普及させていくことが望ましいと考えている。

**質問** 近年頻発する大規模災害に対して、現場の正確な情報を関係者が共有し、的確な判断のもとで適切に対応することが重要である。被災現場のさまざまな情報をリアルタイムで収集し、住民の安全を確保し、被害を最小限に食い止めるためには、内閣府が開発した基盤的防災情報流通ネットワークの導入や、消防本部等へのドローンの配備が必要と考えるが、所見を伺う。

また、災害現場において緊急性の高い救助救出活動を円滑に行うためには、迅速、正確な情報を早期に確に入手できるという観点からドローンは有効であると考えている。

石田議員のその他の質問項目

- ・災害避難所の改善点と道の駅の防災機能について
- ・液体ミルクの導入について
- ・防災教育について

**答弁** 基盤的防災情報流通ネットワークは、停電や通信状況、道路の通行の可否、避難所や給水などの情報を一元的に管理することによって、多くの機関や団体間で状



▲大田消防署

# 高齢者・障がい者世帯に対するゴミ出し支援について問う

## 先進事例を参考に 庁内協議を進める

こまだひろたか  
胡摩田弘孝 議員



### 質問

総務省は、高齢者や障がい者などが住み慣れた地域で自立した日常生活を営むため、昨年から、市区町村が実施する単身の要介護者や障がい者などのゴミ出しが困難な状況にある世帯へのゴミ出し支援に対して、特別交付税措置を講ずる施策(経費の5割補助)が推進されている。

当市も今後、単身の高齢者や障がい者世帯の方々のゴミ出し等が、困難になる状況が増えてくることが予想されることから、市としても、住民に寄り添った対応と支援策を講じていくことが必要だと考えるが、所見を伺う。

### 答弁

環境省において高齢化社会に対応した廃棄物処理体制の支援のための「ガイドライン」を作成し、市町村が実施する単身の要介護者や障がい者などの、ゴミ出しが困難な世帯の支援に対し、特別交付税算定分からその経費の5割を措置するようになっている。

市としては、まずはゴミ出しが困難な事例の把握に努めることも、ガイドラインや、先進自治体の支援制度を参考に協議を進めるべきだと考えている。

なお、支援制度の検討を進めるうえで、廃棄物担当部署単独で実施できるものではなく、部署連携や対象者の把握、一定のルール下による判断基準など、福祉関係部署との協議、連携が必須だと考え、今後庁内関係部署と連携し協議を進めたいと考えている。

市内の収集の様子



# 大田市におけるふるさと納税制度への取り組みを問う

## 地域おこし協力隊などの外部人材を登用したいと考えている

わだこうし  
和田浩司 議員



### 質問

昨年6月に制度変更された「ふるさと納税制度」について、全国の自治体では概ね好意的に受け止め、意欲が高まっている。令和4年度には基金の枯渇が懸念される大田市においては、より効率的な財源確保を目指すため、専門性の高い地域おこし協力隊の採用を検討すべきと考えますが、所見を伺う。

### 答弁

ふるさと納税における業務内容の充実として、新たな登録事業者や魅力的な返礼品の発掘、SNSを活用した情報発信を行うため、地域おこし協力隊など、外部人材を登用したいと考えている。専

門性の高い地域おこし協力隊を募集することは望ましいと考えているが、専門性を特化するには採用条件が厳しくなることが考えられる。返礼品業者と円滑な連携・協力できる行動力と調整能力があること、情報発信ができることを基本に、広く募集をする予定である。これまで職員では気づかなかつた地域素材や新たな魅力を引き出し、当市が目標とする4億円を達成するよう、従来にも増して取り組みを強化していきたい。

和田議員のその他の質問項目

- ・市政の見える化と情報発信について



## 「大田市学校のあり方に関する実施計画(案)」について伺う

検討委員会での協議のたたき台として作成されたものである

もりやま あきひろ  
森山 明弘 議員



くりセンター等と連携を深めることで、地域一体となった教育環境づくりが期待できる。

第三中学校と第一中学校の統合については、多くの生徒がかかわること、一人ひとりの能力や可能性等をさらに伸ばすことができる。また、様々な課題を解消し、保護者、生徒の負担を軽減する必要があると考え提案した。

### 質問

北三瓶小・中学校並びに志学小・中学校において施設一体型義務教育学校を開設し、令和4年度の開設を目指す、第三中学校を第一中学校に統合し、統合年度は令和4年度を目指すという計画の根拠の詳細を伺う。

### 答弁

北三瓶小・中学校並びに志学小・中学校については、どちらも共用校舎である。これまで一緒に行事や体験活動を行ってきた経過を踏まえ、今後より一層の教育の工夫、充実を図ることができると考えた。北三瓶小・中学校については、山村留学センターとさらに連携が期待できる。

志学小・中学校については、まがづ



▶大田市立第三中学校

## 公立保育所の今後のあり方を問う

私立保育所が培ってきた特色のある保育を生かしながら、公立保育所が果たすべき役割を担う

かめたに ゆうこ  
亀谷 優子 議員



や病後児保育の実施など、多様な保育サービス事業を提供されている民間団体への移管も重要であると考え、公立保育園4園については、民営化を検討しているところである。

今後とも、有識者及び保護者の方々からのご意見も尊重していく中で、保育需要に十分に対応した安全・安心な保育環境やサービス提供を図ってまいりたいと考えている。

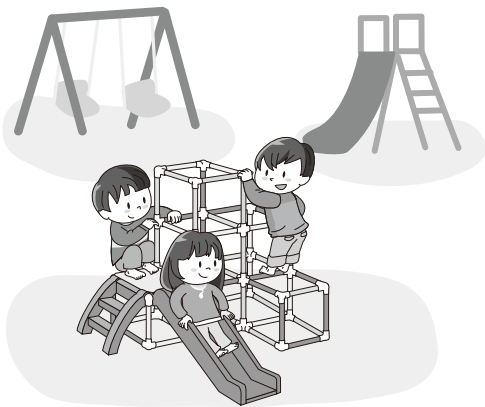
### 質問

「大田市公立保育所再編基本計画」の中で、公立保育所の民営化や認定こども園への移行が示されている。大田保育園、池田保育園、水上保育園以外の園は全て民営化の方向になっているが、すべての子に安心安全な保育をするためには、大田市の責任で公立園として運営するべきと考えるが、所見を伺う。

### 答弁

子育てニーズについては、社会構造の多様化により複雑化しているのが現状である。

そこで今後の公立保育所の在り方を検討する中で、施設の老朽化や児童数の減少、さらに大田市の厳しい財政状況などを鑑みると、延長保育



# 行財政改革特別委員長 最終報告

## 令和2年度以降も引き続き特別委員会を設置し 事務事業評価を継続すべきである



もりやま あきひろ 委員長  
森山 明弘 委員長

去る2月21日、第15回委員会を開催した。

### ①使用料の見直しに伴う影響

昨年10月1日より、使用料の改定が行われたが、各施設の10月から12月までの使用件数及び使用料の前年同期比データが、市直営施設と指定管理施設別に示された。

市直営施設では、まちづくりセンターの使用件数は、ほぼ変わらない状況で、使用料は冷暖房料の徴収を始めたことにより、14.9%と大きく伸びた一方、学校施設では、使用件数が15%増となったものの、使用料

は一時区分や半面利用2分の1規定の追加により、33%と激減している。

指定管理施設では、大田市体育・公園・文化事業団が管理している市民会館、サンレディー大田、市民公園及び運動公園の3施設の使用回数が過去3年の同期比較で大きな増減がないにもかかわらず、使用料金は単価の減などにより減少している。このため、大田市体育・公園・文化事業団から指定管理料の変更の申し入れがあり、協議の結果、市民会館、サンレディー大田について、指定管理料を増額する案が提示された。

質疑として、指定管理者の力量のある自助努力を活かしてもらうことを優先し、安易に応じるべきではないとの問いに、指定管理者は市の全額出資の外郭団体であり、次期行財政改革大綱に関わり方を整理する考えであるとの答弁があった。

また、昨年10月以降、施設の使用料は納付書で金融機関に払い込むようになったが、金融機関への手数料が大幅に増えているとの指摘に対し、市は金融機関に納付書1枚当たり10円の手数を払っているのが現状で、使用件数の多いまちづくりセンターの使用料及び冷暖房使用料について、月でまとめて払い込む方向で協議中であると報告された。

### ②事務事業評価の対応方

執行部の新年度における対応に関して、いつまで、どのようになっているかなどの具体的な記述がなく、物

足りなさが残った。

意見として、まちづくりセンターの職員の負担増も加味し、簡素な納付方法を早急に検討してほしい。

### ③委員会活動の総括

議会の有する執行機関への監視・調査・政策提案機能を十分に発揮できなかつたとの思いがある。財政面に切り込んでいき、事業の選択と集中をどうするのか、指摘・提言する活動が必要ではないか。

中長期財政見通しでは、基金残高が令和4年度に枯渇する推計となっている中で、第4次行財政改革推進大綱の初年度となる令和2年度以降も、引き続き、特別委員会を設置し、各委員が自らの資質を向上させ、事務事業評価を継続してもらいたいことを、委員全員で確認した。



▲特別委員会開催の様子

## 全員協議会の議題

議案の審査または議会の運営に関し協議・調整をおこないます

### 2月19日

- ・令和2年度大田市重点要望の結果について
- ・大田市多文化共生推進計画(案)について
- ・国民宿舎さんべ荘改修事業について

### 3月2日

- ・新可燃ごみ共同処理施設整備について
- ・大田市中心市街地活性化基本計画の見直しについて
- ・大田市共創のまちづくり行動指針について

### 3月9日

- ・大田市波根地区工業団地の状況について
- ・第71回全国植樹祭について
- ・大田市立病院の運営状況について

### 3月19日

- ・新型コロナウイルス感染症対策について

# 大田市議会改革・魅力化調査検討特別委員長 最終報告

## 議会改革・魅力化の検討については 引き続き継続すべきである



こばやし 小林 ひとし 委員長

平成30年の9月議会に設置をされた「大田市議会改革・魅力化調査検討特別委員会」は、この一年半の任期中に9回の委員会を開催し、併せて先進地視察、研修会を実施しております。

「議員のなり手不足解消」という大きな旗印のもと、1回から5回までの委員会では議会基本条例を細解くことで、多岐に渡って改革魅力化の課題を抽出し、活発な意見や提案を整理し、中間提言書と致しました。

そして昨年8月、議長へ提出し議会と市民の皆様へ周知をさせていただきました。この中



▲特別委員会開催の様子

間提言書は多彩な内容となっておりますが、中でも議会内部の改革としては、市民により近い議会報告会の開催、また開かれた議会としての女性や若者、子ども議会、夕方以降の議会開催など市民参加型の取組みを進めること。市民に対しての魅力化としてはタブレット導入の検討やインターネット、SNSの活用研究、そして資質向上と市民サービス向上のためのファシリテーション研修会の4点を重点目標と致しました。

そして第6回委員会以降は先程の4点の実践活動となり、10月21日に

タブレット導入の事例として出雲市議会へ視察に出掛け、12月には全議員へのタブレットアンケート調査を行いました。続いて2月14日には広島から講師を招き、ファシリテーター研修会を開催し、改革・魅力化への新たな一歩としたところです。

中間提言書の提出まで多くの意見、提案をいただき、それ以降は委員会や研修会等での様々な議論を踏まえ整理し、以下8点を後半議会への「申し送り事項」とさせていただきます。

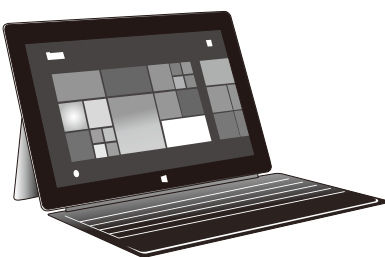
### 申し送り事項

- ① 中間提言書が当委員会の課題抽出と提案の全てである。改革魅力化の基本提言として尊重し、活用する事をお願いする。
- ② 議会基本条例の検証は、議会改革魅力化を検討する上での契機としたが、その議論は今後の条例そのものの改善にも役立てるべきであり、その事が改革魅力化へつながるものと考えらる。
- ③ タブレット端末導入に関しては費用、成果、ペーパーレス化などを勘案し、その導入に向けて慎重に議論を進める事を願う。
- ④ 議会報告会は市民と接する最たるものであり、魅力ある報告会となるようファシリテーター

- ⑤ 市民参加型の開かれた議会として女性、若者、子ども議会、また土、日や夕方以降の議会開催など、引き続き検討をお願いする。
- ⑥ なり手不足解消の観点から議員の兼業禁止についてと保障制度としての厚生年金加入については調査検討を引き続き行う事。また国への意見書提出の検討も願う。
- ⑦ 議員の報酬については報酬審議会の開催を検討し議論する。
- ⑧ 議会改革・魅力化調査検討は道半ばであり、特別委員会を任期後半においても継続設置されることを強く要望する。



ファシリテーションとは……  
人々の活動(組織運営、経営、教育、まちづくりなど)がうまく進むように支援、促進すること



# 新 広報広聴委員会紹介

4月20日に開催の臨時議会にて新体制となりました。  
より充実した市議会だよりをお届けできるよう、心がけてまいります！

わかりやすく

発信！

親しみやすく



(後列左から)塩谷裕志委員、胡摩田弘孝委員、石田洋治委員、三谷 健委員、亀谷優子委員  
(前列左から)河村賢治委員、小川和也副委員長、月森和弘委員長、大西 修委員

よろしく  
お願いします

# 令和元年度 大田市議会議員研修



令和2年2月14日  
(金)、「魅力ある大田  
市議会に向けて」と  
題して、大田市議会  
議員研修会が開催さ  
れました。

講師には、広島市で中小企業診断士として活躍中の藤井好宏氏をお招きし、「ファシリテーション」についてご講演をいただきました。

ファシリテーションとは「人々の活動(組織運営、経営、教育、まちづくりなど)がうまく進むように支援、促進すること」と定義されています。

そのために、会議におけるファシリテーターは、参加者ひとりひとりの存在を尊重し、中立的な立場で会議を進行することの重要性や会議における10項目の心得などを学びました。その後、3つのグループに分かれて、ワークショップ形式で実際に会議の進行を行い、それぞれのグループの進行方法や改善点を発表しました。

市議会議員として、議会報告会や個人ごとの活動を行うと  
きにも、議論が活発に行われるように、ファシリテーターと  
しての役割を果たすことが必要であると気づかされた研修  
になりました。

## 編集後記

年が明けてからほと  
んど雪が降りませんで  
した。あまりにも暖かい  
冬となり、地球温暖化  
による影響を感じず  
はられませんでしたが、

昨年は大災害が相次  
ぎました。風水害の激甚  
化は、地球規模の気候  
変動の影響があるとの  
見方が強まっています。  
21世紀の世界を持続可  
能な経済・社会とする  
ためには温室効果ガス  
の大幅削減を実現する  
対策など地球環境の保  
全の見通しをたてると  
ともに、身の回りの環  
境対策に真剣にとりくむ  
ことが必要です。

次の時代を生きる子  
どもたちや孫たちに良  
好な環境を手渡すため  
にも、環境汚染を規制  
し生態系を守る取り組  
みを、私も日頃から行  
いたいと思います。

(亀谷優子)

## 議会傍聴のご案内

次の定例会は6月の予定です。  
市議会を身近に感じる良い機会です。  
◇傍聴席は定員64人です。  
◇新型コロナウイルスの流行などにより、傍聴を制限さ  
せていただく場合がありますので、ご了承ください。  
(TEL : 0854-83-8137)